

萩原北醫院

下呂市・医療機関

従業員数 / 男性1名 女性38名 計39名 ※令和5年11月現在

エクセレント
POINT

- ①近隣企業や地域の子どもも受け入れ可能な事業所内保育施設・病後児保育施設の運営
- ②月に2日の特別有給休暇を付与
- ③看護・介護休暇を有給化



子育て世代が働きやすい職場環境の整備に力をいれている萩原北醫院。

保育所併設で、安心できる職場に

開院時から職員専用の事業所内保育施設を設置している萩原北醫院。事務長の大林朋子さんは「当初から地域にも開放したいと考えていた」と語り、出産後の子育てに悩む母親が来院したことをきっかけに、受け入れ対象を地域の未満児まで広げた。さらに2015年

4月から下呂市認可の託児所「ししの子」、17年12月から企業主導型保育施設「くろすけ」と併設の病後児保育「みいみい」を開設した。定期利用と一時保育を合わせ30名ほどを保育士17名で受け入れている。誰もが安心してできる環境で仕事・育児ができ、幸せを感じられる生活を送ることを運営目標としている。

同所に子どもを預けていた保育士の戸谷美紀さんは「子どもが体調を崩しても、医師や看護師がすぐに見てくれる環境は安心できた」と話す。子育てをしていない職員にとっても、保育所は癒しの場となっており、職員の妊娠も素直に喜び、みんな育てるという雰囲気がある。

また職員の休みやすさにも気を配り、月に2日の特別休暇を設けるなど、リフレッシュの時間を大切にしている。育休後の復帰も各自に合う



地域に開かれた保育施設として母親をサポートしている。

た勤務形態で対応。大林事務長は「看護師の中には、週1日、1時間の勤務から復帰した人もいる。子どもの成長に応じて、徐々に常勤に戻る仕組みを取り入れている」とし、育休後も職員が仕事を継続しやすい職場環境の構築に注力していく姿勢だ。